



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL http://www.hokutake.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員オペレーション (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030
 本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	58,492	2.3	346	△8.9	659	△8.8	402	△11.8
30年3月期第1四半期	57,167	0.7	380	84.5	723	48.2	456	41.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 954百万円 (72.6%) 30年3月期第1四半期 553百万円 (50.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	17.01	—
30年3月期第1四半期	18.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	126,721	50,028	39.5	2,115.91
30年3月期	123,439	49,298	39.9	2,085.06

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 50,025百万円 30年3月期 49,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	7.50	—	9.50	17.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,000	0.1	1,000	△4.2	1,500	△4.5	900	△8.6	38.07
通期	228,000	0.1	2,300	△7.9	3,100	△11.5	1,850	△14.3	78.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	24,400,000株	30年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	757,467株	30年3月期	757,467株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	23,642,533株	30年3月期1Q	24,618,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明感や金融資本市場の変動の懸念があったものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、国内景気は穏やかな回復基調が続きました。

医療業界におきましては、平成30年4月に実施された診療報酬改定に伴い、薬価や償還価格の引き下げが行われるなど厳しい環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、各事業分野でシナジーの最大化を目指しております。地域毎のシームレスな供給体制の実現のためにエリアサミット継続開催や健康サポート薬局の支援と在宅医療・介護の分野でも、個々のご要望に応じてヘルスケア関連製品やサービスをワンストップでお届けできる体制づくりに着手しております。

また、医薬品卸売事業での事業分野拡大のために、同業2社との共同出資による特殊医薬品専門会社の立ち上げに着手いたしました。医療機器卸売事業では、業務効率の改善および多様性に富んだ医療材料物流を目的とした新商品管理センターの新築計画をスタートさせました。

以上の状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は584億92百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は3億46百万円（同8.9%減）、経常利益は6億59百万円（同8.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億2百万円（同11.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、平成30年4月の診療報酬改定並びに薬価引き下げが実施されたことにより厳しい市場環境が続いております。

このような環境の中、高齢化の進展を背景とした生活習慣病薬、抗がん剤などの分野での新製品の売上が好調となりました。カテゴリー別では、後発医薬品は国の使用促進策により売上が伸長した反面、長期収載品の売上が大きく落ち込む傾向は依然続いております。利益面では、積極的なコスト削減に取り組んだことにより増益となりました。

その結果、売上高は432億41百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1億57百万円（同56.6%増）となりました。

(医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、画像診断機器をはじめ手術装置関連機器などの大型機器の買い替え需要等があり、比較的順調に推移いたしました。また、医療材料等の消耗品においても同様に推移しており、前年度を上回る結果となっております。利益面においては、診療報酬改定や価格引下げ要請の影響もあり低下しております。

その結果、売上高は132億23百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は1億64百万円（同12.3%減）となりました。

(薬局事業)

薬局事業におきましては、平成30年4月に実施された調剤報酬改定と薬価引下げの影響から、調剤技術料収入、薬剤料収入ともに落ち込みが見られ収益的に厳しい状況となりました。

その結果、売上高は34億89百万円（前年同期比2.6%減）、営業損失は5百万円（前年同期は営業利益1億32百万円）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、引き続き福祉用具レンタル・販売および住宅改修における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、新たなサービス付き高齢者向け住宅や介護事業所の開設に加え、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の戦略も奏功して、売上・利益ともに順調に推移いたしました。

その結果、売上高は8億7百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は75百万円（同37.2%増）となりました。

(ICT事業)

ICT事業におきましては、情報関連機器販売やクリニック・調剤薬局等に対する各種パッケージ販売が堅調に推移したうえ、大型案件の先行受注により、売上・利益共に前年度を上回る結果となりました。

その結果、売上高は4億25百万円(前年同期比28.6%増)、営業利益は11百万円(前年同期は営業損失18百万円)となりました。

※ 当第1四半期連結会計期間より、上記セグメントの事業内容がより明確化されるように、「調剤薬局事業」を「薬局事業」に名称変更いたしました。なお、これによる事業内容の変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、売上債権および仕入債務の増加などの要因により一部相殺されたものの、税金等調整前当期純利益が6億49百万円(前年同期比9.9%減)、売上債権が19億1百万円(同7.1%増)増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ16億41百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には223億35百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18億52百万円(前年同期比39.9%減)となりました。これは、売上債権の増加19億1百万円や法人税等の支払9億6百万円などの要因により一部相殺されたものの、税金等調整前当期純利益が6億49百万円、減価償却費が2億28百万円、仕入債務の増加が14億48百万円となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億68百万円(前年同期比36.2%減)となりました。これは主に有形固定資産(サービス付き高齢者向け住宅)・無形固定資産の取得による支出で6億88百万円使用したことによるものです。なお、使用資金につきましては、有形固定資産の取得において金融機関からの長期借入によっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は4億58百万円(前年同期は2億14百万円の資金の使用)となりました。これは、配当金の支払いなどで1億82百万円使用しましたが、金融機関から長期借入金として6億50百万円調達したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月15日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,693	22,335
受取手形及び売掛金	47,935	49,894
商品及び製品	15,090	14,253
仕掛品	3	1
その他	6,116	5,408
貸倒引当金	△18	△23
流動資産合計	89,820	91,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,214	6,573
土地	7,149	7,303
建設仮勘定	106	113
その他(純額)	504	487
有形固定資産合計	13,975	14,479
無形固定資産		
のれん	2,201	2,157
ソフトウェア	606	568
その他	106	126
無形固定資産合計	2,914	2,853
投資その他の資産		
投資有価証券	15,134	15,901
長期売掛金	440	426
破産更生債権等	0	0
長期貸付金	392	340
繰延税金資産	318	359
退職給付に係る資産	13	13
その他	718	753
貸倒引当金	△287	△276
投資その他の資産合計	16,729	17,519
固定資産合計	33,619	34,851
資産合計	123,439	126,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,804	69,266
短期借入金	—	0
1年内返済予定の長期借入金	2	24
未払法人税等	954	910
賞与引当金	796	1,243
役員賞与引当金	144	31
返品調整引当金	62	62
その他	1,131	1,651
流動負債合計	70,897	73,191
固定負債		
長期借入金	24	651
繰延税金負債	1,814	1,463
再評価に係る繰延税金負債	122	122
退職給付に係る負債	533	516
長期未払金	276	266
資産除去債務	262	263
その他	212	217
固定負債合計	3,244	3,501
負債合計	74,141	76,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	32,432	32,610
自己株式	△518	△518
株主資本合計	44,735	44,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,803	6,350
土地再評価差額金	△1,107	△1,107
退職給付に係る調整累計額	△136	△130
その他の包括利益累計額合計	4,560	5,112
非支配株主持分	2	2
純資産合計	49,298	50,028
負債純資産合計	123,439	126,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	57,167	58,492
売上原価	52,904	54,173
売上総利益	4,263	4,318
販売費及び一般管理費		
荷造費	219	228
給料	1,729	1,773
役員賞与引当金繰入額	25	26
賞与引当金繰入額	371	380
退職給付費用	91	84
法定福利及び厚生費	338	344
賃借料	72	72
貸倒引当金繰入額	—	2
その他	1,034	1,059
販売費及び一般管理費合計	3,882	3,972
営業利益	380	346
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	108	120
受取事務手数料	107	132
不動産賃貸料	36	35
持分法による投資利益	27	20
貸倒引当金戻入額	7	—
その他	95	51
営業外収益合計	384	360
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	25	24
遊休資産諸費用	5	6
持分法による投資損失	0	0
その他	10	16
営業外費用合計	41	48
経常利益	723	659
特別利益		
負ののれん発生益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損	2	—
段階取得に係る差損	—	18
特別損失合計	3	19
税金等調整前四半期純利益	720	649
法人税、住民税及び事業税	478	881
法人税等調整額	△213	△635

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
法人税等合計	265	246
四半期純利益	455	402
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	456	402

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	455	402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	546
退職給付に係る調整額	9	5
その他の包括利益合計	97	551
四半期包括利益	553	954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	553	954
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	720	649
減価償却費	252	228
のれん償却額	41	43
負ののれん発生益	—	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△7
受取利息及び受取配当金	△110	△121
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△27	△20
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,775	△1,901
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12	862
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,270	1,448
未払消費税等の増減額 (△は減少)	24	358
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	430	446
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77	△113
未収入金の増減額 (△は増加)	△84	749
預り金の増減額 (△は減少)	48	62
その他	△129	△51
小計	3,564	2,637
利息及び配当金の受取額	110	121
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△593	△906
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,081	1,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41	△642
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△10	△46
投資有価証券の取得による支出	△1,002	△13
投資有価証券の売却による収入	56	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	26
事業譲受による支出	△56	—
貸付金の回収による収入	6	6
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,047	△668

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50	△0
長期借入れによる収入	—	650
長期借入金の返済による支出	—	△0
配当金の支払額	△151	△182
リース債務の返済による支出	△13	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214	458
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,818	1,641
現金及び現金同等物の期首残高	17,813	20,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,631	22,335

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	40,501	12,237	3,579	686	150	11	57,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,231	102	3	1	180	486	3,004
計	42,733	12,339	3,582	687	331	498	60,172
セグメント利益又は損失(△)	100	187	132	55	△18	192	649

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	649
セグメント間取引消去	△201
のれんの償却額	△35
たな卸資産の調整額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	380

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	40,857	13,110	3,485	804	222	12	58,492
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,383	113	3	2	203	507	3,213
計	43,241	13,223	3,489	807	425	519	61,706
セグメント利益又は損失 (△)	157	164	△5	75	11	223	628

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を変更しており、従来の「調剤薬局事業」を「薬局事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	628
セグメント間取引消去	△210
のれんの償却額	△38
たな卸資産の調整額	△32
四半期連結損益計算書の営業利益	346

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。